

空知単板工業株式会社

●事業計画名／木製単板クラフト製品へのデジタルフルカラー印刷による高付加価値化の実現



リコー社との共同検証試験実施後、導入が決定したオンデマンド型デジタルフルカラープリンター。連続印刷時でも複数枚重送・紙詰まりを抑制する機能を搭載

フルカラーのほかオプションのホワイト印刷が可能になり表現力がアップ



木の香りがいっぱいのオリジナルグッズ。紙を中に挟んだ3層構造なので割れにくい

国内シェア1位の天然木薄単板技術で付加価値製品を

1972年に設立し、単板から乾燥製材まで幅広く対応する空知単板工業株式会社。86年から独自技術で厚さ0.3ミリ未満の天然木薄単板の製造・販売を開始し、特に住宅向けフローリング用の天

然木薄単板の国内シェアは30%以上と国内1位になっている。これを主力商品としながら2次加工して付加価値を高めた木製単板クラフト製品の製造・販売に注力していた。

空知単板工業株式会社

TEL／0125-38-8001 FAX／0125-38-8038 <http://www.sorachitanpan.com/>

住 所／北海道赤平市平岸西町
3丁目12
代表者／松尾 和俊
資本金／1,000万円

設 立／昭和47年4月
事業内容／積層単板、化粧合板、ツキ板、スポーツフロア、ウッドテープ、乾燥製材、ウッドクラフトなどの製造、販売

難易度の高い木製単板シートへの印刷に挑戦 クラフト製品の売上・収益向上

木製単板クラフト製品は、主に企業や団体のノベルティとして需要があるカレンダーやしおり、名刺やハガキなどのアイテムが代表的なものだったが、全てのアイテムの表面印刷や、一部アイテムのカットなど、外注依存度が高く、生産性が低い製品群だった。これらの問題を解決するために内製化のための新設備として、製版不要で小ロット印刷に対応できるオンデマンド型デジタルフルカラープリンターの導入が検討された。



企業のノベルティなどに活用される木製クラフト製品

全工程の内製化が実現し生産性向上

紙ではなく木製単板シートに印刷するためにはトナーの定着性、色再現性、木製単板シートの搬送安定性などの問題を解決する必要があった。そこでリコー社との様々な共同検証試験を経て、同社製のオンデマンド型デジタルフルカラープリンターを導入。全工程の社内製造化が実現し、生産性が大きく向上した。



森林と人類の
共存共栄を
基本理念に

代表取締役社長
松尾 和俊氏

ももとは自社のPR用として名刺やカレンダーを、天然木薄単板を使用して制作していました。ところがどうしても外注で印刷するためコスト高になることと、仕上がりの面で完璧なものができないことが多く、その両方を解決することを考えていました。このフルカラープリンターを導入したことにより、高いクオリティでの木製単板シートへのプリントが可能になり、商品開発のスケールが大きく広がりました。また私どもは「森林と人類の共存共栄」を基本理念としています。近年話題になることが多いプラスチック問題、SDGs、温暖化ガスゼロなど、森林と人類を結ぶ役割を担うのも私どもの使命だと考え、木の温もりを伝えていければと思っています。

TOPIC

木製単板ならではの香りや手触りが生きた商品を

同社では新設備としてプリンターを導入後、本事業の目的でもある高付加価値化による売り上げ・収益向上のための新製品開発を推進。某神社の大祭向けカードや境内にある木を素材にした記念しおりなどを制作。

天然の木製単板が持つ香りや手触りといった優位点が生かされた商品開発を続けている。

さまざまな木を使用したしおりなど、木製クラフトの商品開発を推進している

